

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公表番号】特表2019-536360(P2019-536360A)

【公表日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-050

【出願番号】特願2019-524981(P2019-524981)

【国際特許分類】

H 04 W 16/14 (2009.01)

H 04 W 74/08 (2009.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 L 27/26 (2006.01)

【F I】

H 04 W 16/14

H 04 W 74/08

H 04 W 72/04 1 3 6

H 04 L 27/26 1 1 4

H 04 L 27/26 4 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月23日(2020.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)における通信の方法であって、

第1のオペレータの第1の予約ブリアンブルがダウンリンクチャネルの複数のタイムスロットの第1のタイムスロット上で第1のネットワークエンティティから受信されているかどうかを判定するステップであって、

受信機タイムフレームを各々が最大持続時間有する複数のセグメントに区分するステップと、

前記第1の予約ブリアンブルの一部分に対応する前記複数のセグメントのうちの1つまたは複数を蓄積するステップと、

非コヒーレント相互相關演算を前記蓄積された1つまたは複数のセグメントの各々に適用するステップと、

前記第1の予約ブリアンブルの検出をトリガするために、前記非コヒーレント相互相關演算の各出力を組み合わせるステップとを含む、判定するステップと、

前記第1のオペレータの前記第1の予約ブリアンブルが受信されているとの前記判定に基づいて、前記第1のオペレータの第2の予約ブリアンブルをアップリンクチャネル上で第2のネットワークエンティティに送信するステップとを含む、方法。

【請求項2】

前記非コヒーレント相互相關演算が、時間領域非コヒーレント相互相關演算または周波数領域非コヒーレント相互相關演算のうちの少なくとも1つに対応する、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

前記第1のオペレータの前記第2の予約プリアンブルを前記アップリンクチャネル上で前記第2のネットワークエンティティに前記送信するステップが、前記第1のオペレータの前記第1の予約プリアンブルが受信されているとの前記判定の完了時間に対応する送信時間に前記第2の予約プリアンブルを送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

前記第2の予約プリアンブルの終了時間が、前記第1の予約プリアンブルの終了時間に対応し、前記第2の予約プリアンブルの前記終了時間および前記第1の予約プリアンブルの前記終了時間が、前記第1のネットワークエンティティの前記第1のタイムスロットのスロット境界に整合する、請求項3に記載の方法。

【請求項 5】

前記第2の予約プリアンブルの持続期間と切替えギャップの持続期間の比率を判定するステップをさらに含み、前記第2の予約プリアンブルが前記第1のネットワークエンティティの前記第1のタイムスロットのスロット境界に整合する、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記第2の予約プリアンブルのシーケンスが、前記第1の予約プリアンブルのパンクチャされた波形または位相回転された波形のうちの少なくとも1つに対応する、請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

前記第1のオペレータの前記第2の予約プリアンブルを前記アップリンクチャネル上で前記第2のネットワークエンティティに前記送信するステップが、前記UEと前記第1のネットワークエンティティが両方とも前記第1のオペレータに対応することに基づいて、前記第2の予約プリアンブルを單一周波数ネットワーク(SFN)送信として送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

前記UEが複数の送信アンテナを含み、前記第1のオペレータの前記第2の予約プリアンブルを前記アップリンクチャネル上で前記第2のネットワークエンティティに前記送信するステップが、直交周波数分割多重(OFDM)フレームを再使用することによって前記第2の予約プリアンブルを前記複数の送信アンテナ上で送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 9】

前記第1のオペレータの前記第2の予約プリアンブルを前記アップリンクチャネル上で前記第2のネットワークエンティティに前記送信するステップが、構成可能な送信ダイバーシティ方式に基づいて前記第2の予約プリアンブルを送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

前記構成可能な送信ダイバーシティ方式が、周波数領域におけるトーンインターリービング、前記周波数領域におけるサブバンドインターリービング、または時間領域におけるサイクリックシフトダイバーシティのうちの少なくとも1つを含む、請求項9に記載の方法。

。

【請求項 11】

オペレータの数を含む指示を前記第1のネットワークエンティティから受信するステップと、

前記第1のネットワークエンティティからのオペレータの前記数に基づいて、前記第1のタイムスロットを含む送信機会構造を判定するステップであって、オペレータの前記数が、前記第1のネットワークエンティティよりも低い優先度レベルを有する第2のネットワークエンティティを含む、判定するステップと、

ULプリアンブル送信の支援のためのUEのサブセットを識別するステップと
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

ワイヤレス通信のための装置であって

第1のオペレータの第1の予約ブリアンブルがダウンリンクチャネルの複数のタイムスロットの第1のタイムスロット上で第1のネットワークエンティティから受信されているかどうかを判定するための手段であって、

受信機タイムフレームを各々が最大持続期間を有する複数のセグメントに区分するための手段と、

前記第1の予約ブリアンブルの一部分に対応する前記複数のセグメントのうちの1つまたは複数を蓄積するための手段と、

非コヒーレント相互相關演算を前記蓄積された1つまたは複数のセグメントの各々に適用するための手段と、

前記第1の予約ブリアンブルの検出をトリガするために、前記非コヒーレント相互相關演算の各出力を組み合わせるための手段と

をさらに含む、判定するための手段と、

前記第1のオペレータの前記第1の予約ブリアンブルが受信されているとの前記判定に基づいて、前記第1のオペレータの第2の予約ブリアンブルをアップリンクチャネル上で第2のネットワークエンティティに送信するための手段と

を含む、装置。

【請求項 1 3】

ワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶するコンピュータ可読媒体であって、

第1のオペレータの第1の予約ブリアンブルがダウンリンクチャネルの複数のタイムスロットの第1のタイムスロット上で第1のネットワークエンティティから受信されているかどうかを判定することであって、

受信機タイムフレームを各々が最大持続期間を有する複数のセグメントに区分することと、

前記第1の予約ブリアンブルの一部分に対応する前記複数のセグメントのうちの1つまたは複数を蓄積することと、

非コヒーレント相互相關演算を前記蓄積された1つまたは複数のセグメントの各々に適用することと、

前記第1の予約ブリアンブルの検出をトリガするために、前記非コヒーレント相互相關演算の各出力を組み合わせることと

を含む、判定することと、

前記第1のオペレータの前記第1の予約ブリアンブルが受信されているとの前記判定に基づいて、前記第1のオペレータの第2の予約ブリアンブルをアップリンクチャネル上で第2のネットワークエンティティに送信することと

を行うためのコードを含む、コンピュータ可読媒体。